

関東六華会副会長

木谷 駿夫 (電気科三十五年卒)

関東六華会が発足後に不肖当方が川上会長
の陣頭指揮の元、副会長の大役を任命され、
少しでも母校や関東地区の皆さんにお役に
立つ様に努力しておりますが、かたぐるしい
内容よりもすこし過去の思い出だしてみたい
と思います。

苦工校則の質実剛健に汚点！

校風は学校創設以来「質実剛健」をモットー
として現在も脈々として継続していると思う。
しかしながら小生が在学中(昭和三〇年代
前半)に質実剛健に汚点を残す様な事が二件
おきた。それは大阪駅事件と札幌五番館事件
であった。大阪駅事件は昭和三十三年春に、
三年生が修学旅行で関西方面に行った時、他
校生と大阪駅ホームで喧嘩をし、売店で
万引きをした事である。その内容が関西地区
の新聞に掲載、「苦工生は大阪に来るな」と
いうような非難轟々の投書が相当数、校長
宛に来た。当時の一柳校長が涙ながらに、こ
の投書を読まれた事が今も鮮明に記憶して
いる。小生達もこの年の秋(二年生)は関西方
面に修学旅行に行ったが先例が

あるので大阪ではどこにもおろされず
しかも見学もできずに、大阪城で記念
写真を撮る為の四〇分位バスから降り
ただけだった。しかもつとシヨックだっ
たのは、北海道新聞の夕刊に三段抜き
で「苦工生窃盗で逮捕」と載った。小生
のクラスメイト五人が最終学年の二学
期の始業式の数日前に札幌五番館デパ
ートからカメラ、テープレコーダー等を
盗んだのである。二学期が始まり、二
週間後には五人の退学処分が発表さ
れた。科長(野村団二氏)が開校以来の
不祥事であること涙ながらに、いきさ
つを話したがもちろんクラス全体が二
ヶ月位暗く沈んでいた。学校関係者、
在校生や先輩諸氏に大変な迷惑をかけ
たことを今も鮮明に記憶している。

守谷一雄氏(電通三十六年卒)

賞状褒賞受賞された。

昨年の十一月の文化の日に我が苦工の
守谷氏が特許弁理士活動で長年の貢献に
対して表彰された。

東京都中央区日本橋本町一の一の十三

ロッツ興和ビル内

守谷渡部内外特許事務所

〇三―三三―四二―七二八―

二〇〇四年度の

関東六華会総会が開催

されました。

昨年九月四日(土)十五時から新宿駅

近くのワイズで約五十名参加、本部から
岩本会長、紺屋幹事長、先輩の二十八
卒工化の須藤(向井田)文世さん、二十九
年卒工化の小野寺克子さん、そして苦小
牧事務所の山口副所長が出席されて開催
した。式次第に従って、物故者のご冥福を
お祈りして進行した。アルコルが進む
と段々学校時代の会話に花がさいて、
話題の中心はやはり駒大苦小牧が全国
優勝で一気に盛り上がり話題に事を欠
かない一駒で現在の後輩の活躍に元気が
なく、カツが入りそうであった。

そして小松山先輩の書籍が7冊も三十
二年卒工化の亀井さんから寄贈されて
抽選で参加者にお土産として手渡れた。
限られた時間で今回もショートライブで
皆さんとカラオケに興じたり和気藹々の
中に次回の開催に再会を約束し各自は
よい聞せまる新宿ネオン街に足を運んだ
様でした。

「注意」と「案内」

総会は秋から春に変更！

二〇〇五年度の関東六華会の総会は
五月二十一日(土)に開催されますが
詳細は別紙ご参照下さい。

会員情報たより

同窓会のご案内で各位から頂いた
情報をお知らせするコーナーですが
別紙記載致しましたのでご覧下さい。

編集後記

二〇〇四年度は国内外で災いの年で
したが被災地の復興は厳しい冬季の
厳しさに被災見舞金を送付した。
又低金利に輪をかけて、振込め詐欺
が多発化。災害は忘れた頃に・・・の
諺を肝に銘じて備えをしつかりする
必要がある。本年もまもなく早爛漫
の季節を向えて、会報をこの度発行
するに当り同窓生諸氏の現役での
活躍は勿論、地域での活躍等いずれも
健康が一番で心暖かな社会に希望
をもちながら、関東六華会の総会での
参加を期待致します。